宮池 あきら みやいけ明しポート

ご　挨　拶

奈良市議会議員　宮池 明

酷暑もようやく峠を越して、虫の音と夜風は秋を感じさせます。

初当選以来１年が過ぎ、早くも５回目の定例議会を終えました。これまでの皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。

さて、奈良市議会は９月定例議会で、平成 21 年度歳入歳出決算の認定を含む報告 8 件、副市長人事案件を含む議案 37 件、諮問 3 件について審議し私は一般質問で質疑しました。

一 般 質 問 から（抜粋）

☆無駄を省く行財政改革についての質問

これまで取り組まれてきた市の行政評価について質問。大切な税金を扱う行政の仕事について、これまで行政内部の評価にとどまっていた事務事業評価を第三者による公開審議で透明性を図り、その評価結果と連動し、要不要・民間委託等をはかる事業仕分けへと結び付けて、市民への理解や説明責任をはたせる行政評価システムの構築を提案。

> ***ポイント***：行政評価とは、行政が「仕事をした結果」を評価するもので行財政改革の取り組みの一つです。政府・地方自治体の仕事を目的と手段の関係によって政策ー施策ー事務事業の３層の構造で体系的に整理し評価します。政策評価は、政府、自治体が経済や医療・年金といった政策を評価。施策評価は、その政策を文化教育や観光経済、福祉といった体系的な施策の実施にあたり計画（自治体は総合計画を基本としている）通りに進捗しているかを評価。事務事業評価は、実施レベルで合理的に行政サービスが提供されているかを評価。

○市長公室長の答弁

評価の客観性・透明性を高め市民の皆様に対する説明責任を果たす上でも外部の方による事務事業評価の必要性は認識しており、また、事業抽出における透明性を高め、一定の議論が事前にされることから市民の皆様のご理解もい

⇒裏面に続く

《 発行者：宮池明 》
建設委員会委員
総合計画検討特別委員会副委員長
公民館運営審議会委員
e－mail
miyaikejp@yahoo.co.jp
web site
http://www.komei.or.jp/km/nara-miyaike-akira/
TEL＆FAX
0742-63-1551
《公明党奈良市議団 》
二条大路南1丁目
1番1号
TEL:0742-34-4789
FAX:0742-34-4913

⇒続き

ただき易いものと存じますので、今後の改善の一つとして検討させていただきたいと答弁。

☆男女共同参画施策についての質問

問題点：JR奈良駅西側の再開発第一ビル2階に奈良市男女共同参画センターがあり、昨年11月の事業仕分けで多額の維持管理経費が問題になりました。その後、市の方針として「男女共同参画事業の重要性について理解されているが、費用対効果からみて現在の場所でセンターが継続することは困難であると思われ、平成22年度末をもってセンターの機能を移転」と決定されました。移転先としてボランティアセンター案が浮上しましたが、問題点として①移転にかかる時間的制約、②ソフト面の充実をいかに図るか、③利用団体の女性団体やボランティア団体の協力や理解、④移転後の後利用などの懸案があります。

←男女共同参画センターが入っている再開発第一ビル

ボランティアセンター→

近年、女性や弱者に対してDV被害が顕著になり、男性と女性が職場・学校・地域・家庭で個性と能力を発揮できる社会の実現を目指し、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)が求められております。昨年の事業仕分けの結果をうけて男女共同参画センター機能移転決定について、1点目は移転をどのようにされるか。2点目は施策のビジョンをどのように考えているのか質問。

行政サイドの視点だけでなく利用者や女性団体の視点も考慮し、さらには女性だけでなく、男性に対するソフト面の充実を図らなければ真の男女共同参画社会の推進は図れず、男性に対する啓蒙なども含め施策の充実を要望。

○市長の答弁

移転先としてボランティアセンター案を利用団体に提案させていただき、よせられたご意見を可能な限り反映できるよう努力してまいりたい。また、女性が働きやすい環境整備、育児・子育て・介護支援施策の充実とDV予防から被害者支援の自立支援までを総合的かつ一体的に推進していきたいと答弁。

☆トピックス

「社会保障基本特別研修会」8/16～20　全国市町村国際文化研究所にて
研修テーマ：社会保障・福祉の基礎、介護保険、医療保険、医療制度・障害者福祉、生活保護
演習課題のプレゼンの一コマ